

癌化学療法 投与計画書 (新規・変更)

患者番号
氏 名
生年月日
性別

提出日
主治医

病名:再発又は難治性の多発性骨髄腫
患者本人へ説明した内容:

プロトコル名: E-Pd療法

ケール目
開始日
次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)
0.0

※ 0.22マイクロ以下のフィルターを通して投与							DAY 0	DAY 1	...	DAY 7	DAY 8	...	DAY 14	DAY 15	...	DAY 21	DAY 22
薬品名	プロトコル標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	#####	1月 0日		1月6日	1月7日		1月13日	1月14日		1月20日	1月21日	
1 ポマリトカプセル(4mg)	4mg/body		経口					○	○	○	○	○	○	○	○		
2 カロナール錠(200mg)		2錠	経口		エムブリシティ投与30～90分前までに服用			○		(○)			(○)			(○)	
3 生理食塩液		100mL	点滴	30分				○		(○)			(○)			(○)	
デキサート(8.6mg)		1V	点滴		エムブリシティ投与の45分前までに投与完了			○		(○)			(○)			(○)	
ガスター(20mg)		1A	点滴					○		(○)			(○)			(○)	
4 生理食塩液		100mL	点滴	30分				○		(○)			(○)			(○)	
アタラックスP(50mg)		1A	点滴					○		(○)			(○)			(○)	
5 生理食塩液		50mL	点滴	5分				○		(○)			(○)			(○)	
6 生理食塩液	★下記参照	150～350mL	点滴		忍容性良好な場合は投与速度を下記に変更可 1サイクル初期0.5ml/分 (30分)→1ml/分(30分)→ 2ml/分、1サイクル2日目 3ml/分(30分)→4ml/分、 1サイクル3日目以降 5ml/分 25mg/mLの濃度で溶解 (300mg製剤は注射用水13mL、 400mg製剤は注射用水17mL) 3サイクル目以降はday0,15,22投与なし			○		(○)			(○)			(○)	
注射用水		20mL						○		(○)			(○)				(○)
エムブリシティ点滴静注用	1、2サイクル目10mg/kg							○		○				○			○
エムブリシティ点滴静注用	3サイクル目以降20mg/kg							○									
7 生理食塩液		50mL	点滴	15分				○		(○)			(○)			(○)	
8 レナデックス錠(4mg)	28mg/body (75歳を超える場合は8mg)	28 mg	経口		投与の3～24時間前に内服 3サイクル目以降はday7,14,21投与なし		○			(○)			(○)		(○)		
9 レナデックス錠(4mg)	40mg/body (75歳を超える場合は20mg) (3サイクル目以降)	40 mg	経口		3サイクル目以降のみ					○			○			○	

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 28日
投与日: エムブリシティ day1、8、15、22 (3サイクル目以降はday1のみ)
ポマリスト day1～21
レナデックス28mg:1-2サイクル目 day0、7、14、21
3サイクル目以降 day0
レナデックス40mg:3サイクル目以降 day8、15、22

★生理食塩液 希釈液量
体重 50kg未満: 150mL
50～90kg: 250mL
90kg超: 350mL

《注意事項》
1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします。
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。